



2017年8月通算第5号（不定期発行）

# こもれび

川村学園女子大学心理相談センター便り  
<http://www.kgwu.ac.jp/>

## 公開講座を開催しました！

7月17日（月・祝日）に公開講座を実施しました。講座①「子どもを持つこと、育てること」では講師の蓮見教授が日本の未婚化・晩婚化問題や諸外国の子育て事情について解説してくださいました。講座②「災害時の心のケア」では講師の簗下教授が災害時の心理的反応とその支援方法について具体的にお話してくださいました。皆さまのご来場ありがとうございました！

2017年度 川村学園女子大学心理相談センター  
公開講座  
「子育ての“日常”と  
“まさか”の時」

【日時】7月17日（月・祝日）13:00～16:10  
（受付12:40～）  
【会場】川村学園女子大学 14号館大教室  
〒162-8601 東京都国立市1-13-13  
（JR有楽線 天王橋駅（北口）より徒歩9分）  
※定員を超えれば先着順抽選とさせていただきます。  
【講師】 蓮見元子（「日常」）と 簗下成子（「まさか」）

無料  
定員200名  
（参加申込不要）

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶
- 13:10～14:30 講座①「子どもを持つこと、育てること」  
我が国で少子高齢化が進み、初めて生まれる女性の平均年齢が24歳を  
超え、世界的にも高齢化が一層進んでいます。産後うつや産後鬱、育児  
不安、子育て支援のこと、育つことについてお話しします。  
講師：蓮見元子（心理相談センター長、川村学園女子大学心理学  
部、心理学・教育学専攻、臨床心理士）
- 14:40～16:00 講座②「災害時の心のケア」  
災害発生時、多くの人が被災を体験しています。大人数の子どもは  
心に大きな傷を負うだけでなく、見えない不安や恐怖を感じ、適切な  
支援を受けることが必要です。災害時の心のケアについてお話しします。  
講師：簗下成子（心理相談センター長、川村学園女子大学心理学  
部、心理学・教育学専攻、臨床心理士）
- 16:00～ 閉会挨拶

無料相談会のお知らせ

日 時：7月29日（土）10時～16時  
場 所：川村学園女子大学心理相談センター  
相談時間：20分～30分  
場 所：心理相談センター-内館の臨床心理士（大勢ではありませぬ）  
〒162-8601 東京都国立市1-13-13  
TEL: 04-7183-7165（月～金 10時～15時）

## 身近な人だからこそ

身近な人が落ち込んだり何かあると心配になりますね。本人が辛いのはもちろんのこと、身近な家族もショックを受けて「何かの間違いではないか」と思いたくなるのが人の常です。また、家族は毎日顔を合わせていることから、むしろ変化に気付きにくい傾向があると言われています。



## 第三者の立場

身内のことを他人に話しにくいのは当然です。責められるではないか、恥ずかしい、家族なのに何もできないなんて…。そんな時こそカウンセリングを利用してみてください。後腐れがない関係は日常にはなかなかありません。何も知らない人に話すことで、客観的な視点で物事を見直す助けになります。



## 無料体験講座のお知らせ



以下の日程で、無料体験講座を実施します。アロマセラピーのミニ講座とルームフレグランススプレー作りを体験していただきます。今年度は学園祭のイベントと兼ねていますので、ぜひお越しください。皆さまのご参加をお待ちしています！

日にち：10月21日（土）・22日（日）

時 間：11時～ / 14時～（全4回、1回50分程度）

参加人数：定員6名（1回につき）、先着順（10分前より受付）

注意事項：対象は中学生以上。

妊娠中・授乳中の方、アレルギー等の持病をお持ちの方はスタッフにご相談ください。

お問い合わせ先：川村学園女子大学心理相談センター

TEL 04-7183-7165（受付時間：月～金 10時～15時）

## スタッフの教育・研究活動

第5号は、蓮見元子教授についてご紹介します。蓮見教授は発達心理学が専門です。外国の教育事情を視察されたり、小学生から大学生までの放課後の過ごし方を調査され、教育的視点を含めた心理学研究をされています。また、臨床心理士として発達に心配のあるお子さんやその保護者への支援をされています。吃音、チック、登園（登校）しぶり、かんしゃくを起こすなど、お子さんの心配事について発達検査などをおこないながら保護者への助言をされています。このようなご相談や心理検査は心理相談センターでもおこなっています。



## coffee break（あとかき）

雨は私たちに恵みをもたらしてくれますが、一方でその驚異を感じさせられます。日々の暮らしにありがたさを感じつつ、皆さまが平穩無事に暮らしていけることをお祈り申し上げます。（スタッフN）